

## 情報システムに関する研修について

九州大学工学部電気情報工学科目から、前期では4科目、後期では2科目を聴講させていただいた。「コンピュータアーキテクチャ」、「コンピュータアーキテクチャ」、「コンピュータシステム」では、現代のコンピュータの動作原理とそれを実現する構成要素の動作と構造や、ハードウェアとソフトウェアのインターフェースとしてのコンピュータアーキテクチャの概念を理解することができた。「情報ネットワーク」と「通信ネットワーク」では、今後の校内ネットワーク構築と深く関わっており、コンピュータネットワークの最新技術や課題、今後の技術開発と展開状況等について理解することができた。

「コンピュータシステム」の講義内容は、今後情報分野の指導を行っていく中で、基礎基本となるコンピュータシステムを構成する計算機のハードウェアやソフトウェアについて学ぶことができた。また、「コンピュータアーキテクチャ」、「コンピュータアーキテクチャ」、「通信ネットワーク」の講義内容は高等学校の課程を超える専門的な内容であったため、高校での授業で直接その内容を指導する機会はないと思われるが、情報システム構築のための要素技術について理解を深めることは、今後情報処理関連科目の授業を実施する上で大変有益であったと思われる。その他にも、「計算機システム構成論」では、隔週におけるレポート提出をはじめ、講義の中でセキュアOS、社会システムとしての計算機、ヒューマンインターフェース、ユビキタスコンピューティングなどのトピックスを紹介していただき、それについて調べ学習を深めていく大切さを学ぶことができた。